

中期経営計画（MP2026） 最終年度の取組み

証券コード：3434（東証スタンダード）

2026年6月12日

株式会社 **アルファ**

(1)中計目標値の見直し

オリジナル
2023年5月

Sales	OP	(%)
850	55	6.5

前回修正
2025年5月

Sales	OP	(%)
750	30	4.0

2026年度
目標値

Sales	OP	(%)
730	15	2.1

単位：億円

市場環境変化への適応が不十分となり、2度の計画見直しを実施

自動車 部品

- ・主要得意先の生産台数の大幅減産と新車SOP遅れ。
- ・市場環境変化。（中国：ローカルカーメーカー台頭と席卷。タイ：ピックアップトラック減産）
- ・EV鈍化による付加価値製品比率低下。
- ・費用回収及び新製品の収益改善遅れ。

セキュリティ 機器

- ・住設機器部門では、大手賃貸管理会社のスマートロックの大型採用を起点に他社への展開を見込んでいたが、市場浸透の遅れにより売上高を見直し。
- ・ロッカーシステム部門では、将来成長に向けた2026年の先行投資を実施したことにより、営業利益額を一時的に引き下げた。

(2)目標達成への取組み「両利きの経営」の促進

既存製品・既存組織の枠組みを超えた顧客価値の追求

探索軸

新規事業の創出

新規事業・売上拡大

成長競争優位
ビジョン2030

27/3月期
26/3月期
25/3月期
24/3月期

- 自動車部品事業
：システムモジュール製品含む
シナジー活用による**事業拡大**
- 住設機器事業
：**ストックビジネス**と**既築市場**への**展開**
- ロッカーシステム事業
：**SDGs**用途による**ロッカー型自販機事業**の**拡大**

現行事業の飛躍

コア事業・利益確保

- 自動車部品事業：**高付加価値**製品へのシフト、**収益基盤**の強化
- 住設機器事業：**電気錠**の**顧客満足度・認知度向上**による拡大
(トップシェア継続)
- ロッカーシステム事業：「**預かる・渡す**」ソリューションの**創造**
- 管理機能：**人事戦略・知財戦略・DX戦略**の推進

深化軸

既存事業の不断の改善効率化・収益力強化

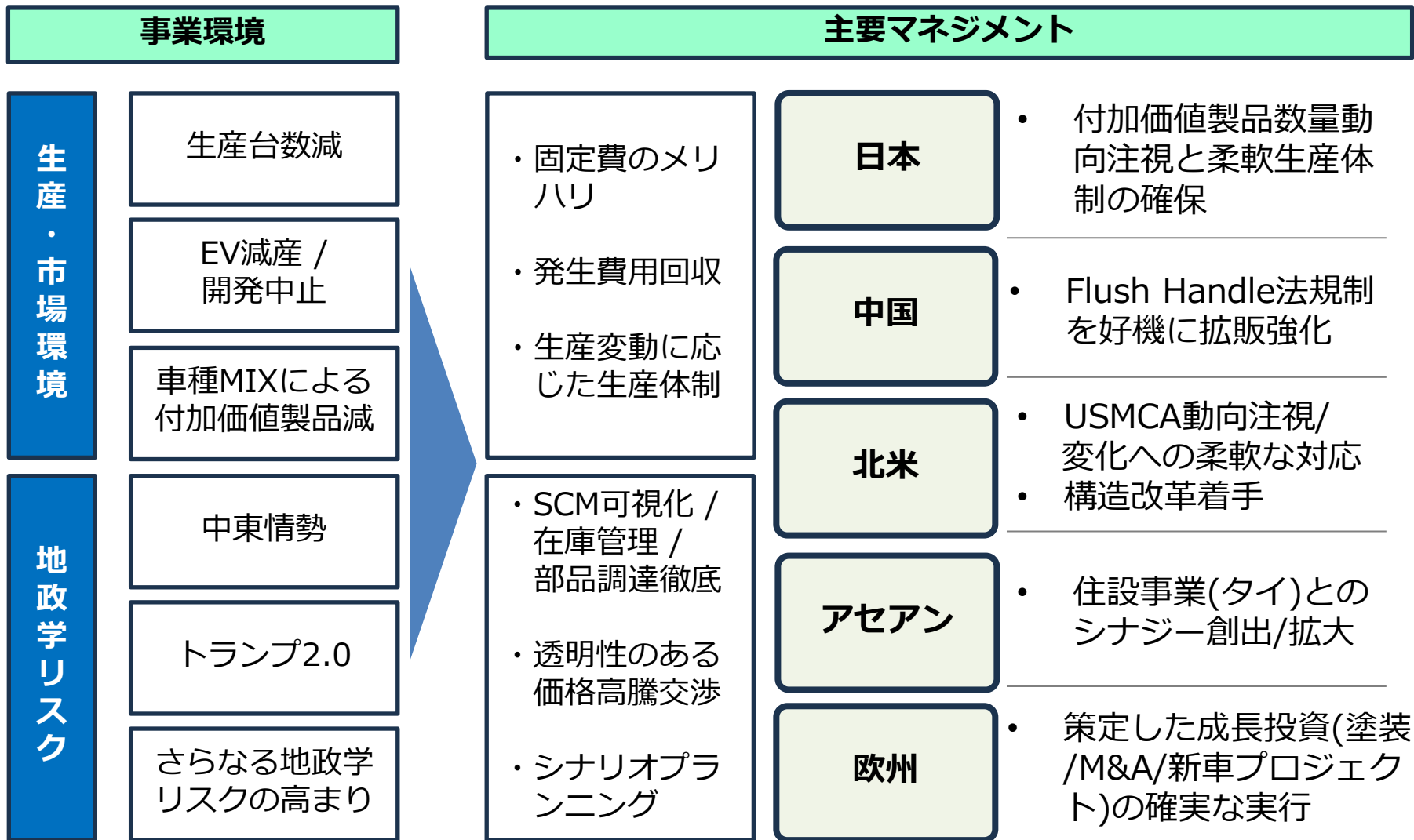
成果が問われ、次の未来を切り拓く一年

- ✓ **2026年度は「地固めの年」**
➔ これまでの改革や投資の**成果が問われる重要なフェーズ**
- ✓ **実行と成果を重視した経営を徹底**
➔ 「計画や努力」ではなく、**「実行と結果」がすべて**
- ✓ **中期経営計画の総仕上げ**
➔ 回復で終わらせない。**次の成長フェーズへつなぐ1年**



(4) 自動車部品事業

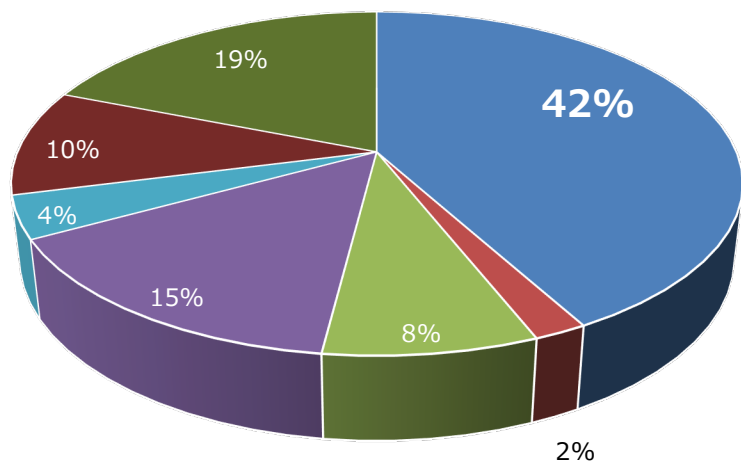
➤ 不確実性の高まりに対し、変化に強い組織運営を徹底し、迅速な意思決定で対応していく



(4) 自動車部品事業

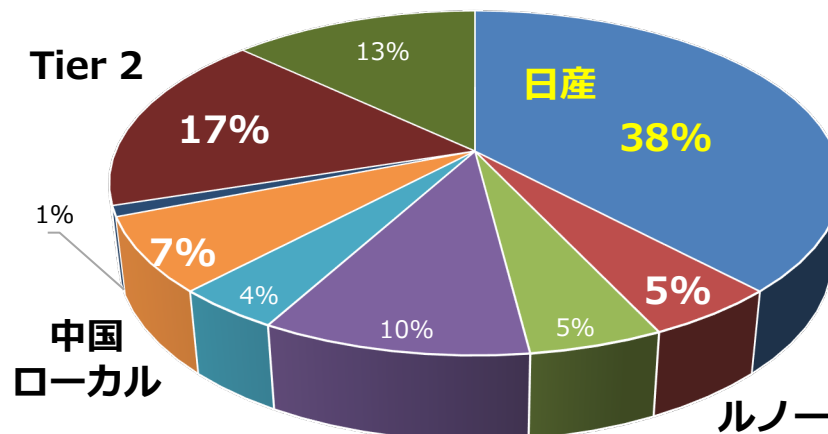
中国ローカルカーメーカー急拡大、欧州成長戦略(ルノーアハンドル、Tier 2事業拡大)により
“顧客ポートフォリオ”拡充は着実に進展

2022



■ NISSAN ■ RENAULT ■ HONDA ■ VW ■ FORD
 ■ Chinese OE ■ KIA ■ Tier 2 ■ Other

2026



■ NISSAN ■ RENAULT ■ HONDA ■ VW ■ FORD
 ■ Chinese OE ■ KIA ■ Tier 2 ■ Other

売上 473億円

575億円

日産台数 (当社受注) 282万台

223万台

(4) 自動車部品事業

変動費は**“不採算部品改善”**と**“新製品品質ロス撲滅”**
市場環境の変化を踏まえ、さらなる**“固定費の適正化”**を行う

収益基盤強化

ものづくり革新

固定費最適化

市場変化への
フレキシビリティ対応

共通

不採算部品改善 / 費用回収

日本

- モノづくり革新アイテムリーディング
- R&D “未来を創る”分野にリソース注力

中国

- 固定費削減(完了)・間接機能統合(継続)
- 新製品の品質ロス撲滅

北米

- 工程集約と品質ロス撲滅
- リージョン経営深化(固定費/生産分担)

アセアン

- 低稼働内製品の見直し
- 市場規模に合わせた間接機能適正化

欧州

- 成長投資効果の実現
- 新車プロジェクトのロスなき立ち上げ
- PMIの加速

(4) 自動車部品事業

EV市場の再編が進む中、当社は開発済み製品を成長地域へ柔軟に展開し、**“製品ポートフォリオ”**を拡充しながら確実な販売機会を創出します

2026

14

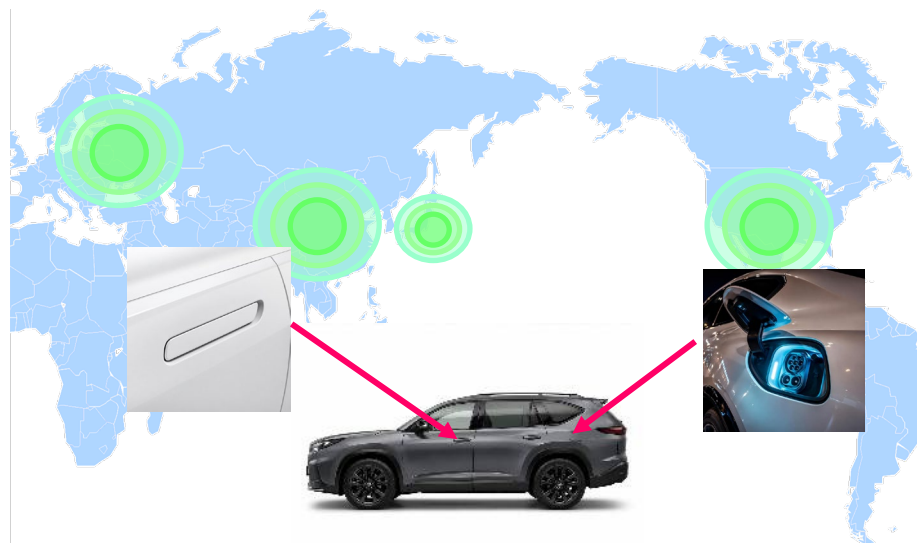


 付加価値製品/当社新商材投入車種
新規顧客拡大 対応車種

外部環境変化

- EV市場の鈍化(EV開発中止)
- 新車SOP遅れ

即時投入可能な開発済み製品が武器



(4) 自動車部品事業 (欧州)

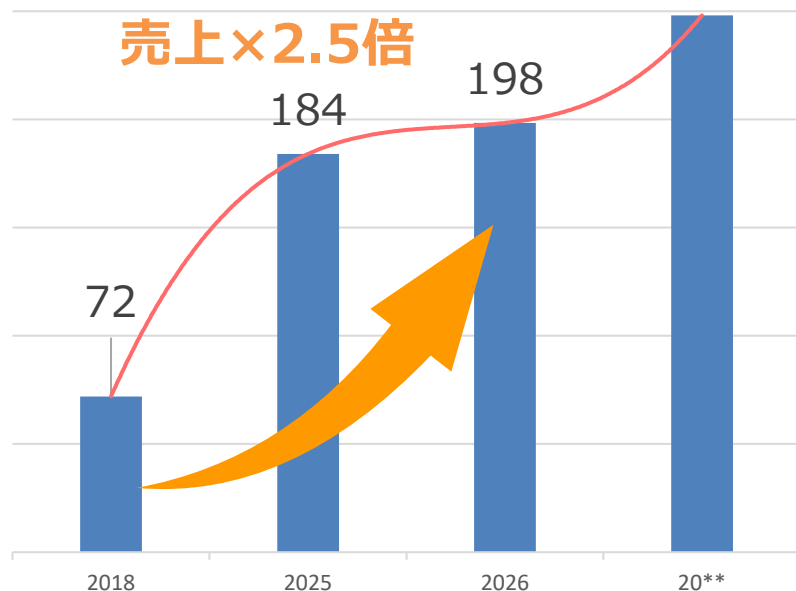
欧州の**ドアハンドル拡大戦略は極めて順調**
 欧州におけるドアアクセス領域でのプレゼンスは高まっている

欧州での生産台数はほぼ横ばい

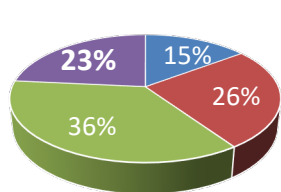
ハンドル/Tier2事業拡大

億円

売上×2.5倍

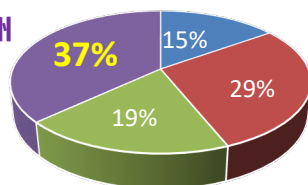


2022



2026

欧州



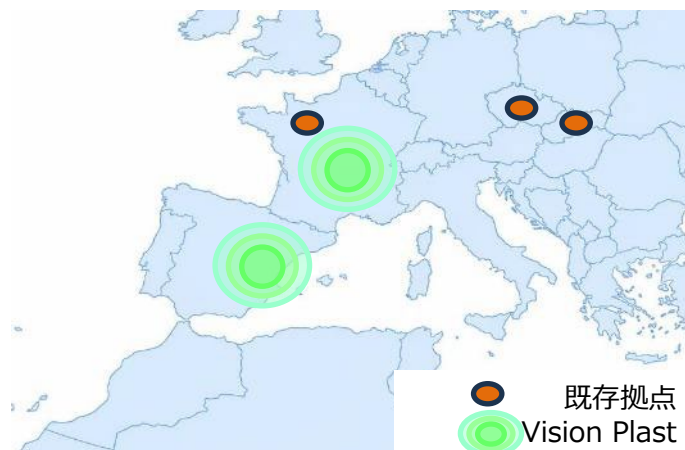
■ JPN ■ NA ■ ASIA ■ EUR

■ JPN ■ NA ■ ASIA ■ EUR

主要ポイント

◆ Vision Plast(成形メーカー) 買収

- 樹脂成形を内製化。付加価値向上/品質安定化
- 西ヨーロッパ+北アフリカの攻略拠点



◆ ドアハンドル拡大戦略 - 2nd Step -

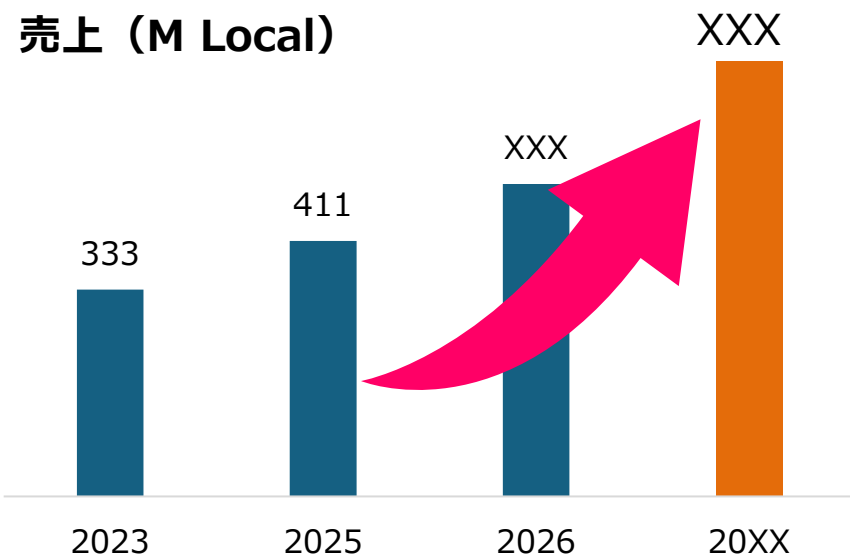
- 拡大戦略第2段階として大型PJTが今年立ち上げシェア拡大が進む“新たな局面へ”



(4) 自動車部品事業 (中国)

- ◆ ローカル系比率が着実に上昇し、“狙い通りのポートフォリオ”へ転換が進行
- ◆ Flush Handleの市場変化を、当社にとっての“新たな攻めどころ”へ転換

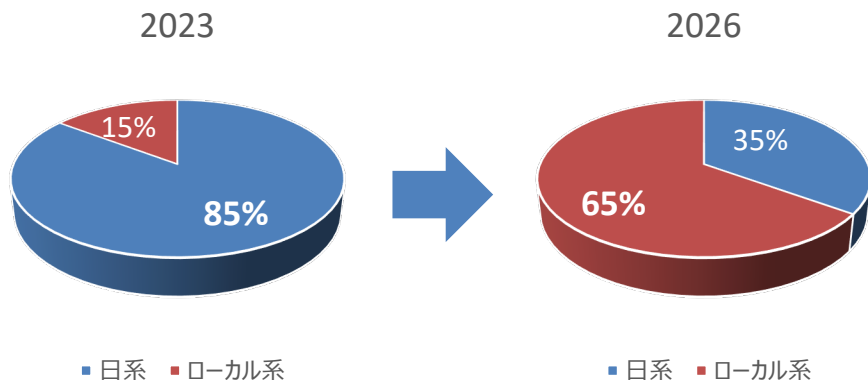
売上 (M Local)



- NEVシェア拡大トレンド継続 *1
- Flush Handle法規制 *2

*1: New Energy Vehicle (新エネルギー車)
 *2: 事故発生時の救護性から安全面が厳格に強化

顧客シェア



攻め

- 法規制は好機
多数の引き合いを受領/対応中
- EV市場拡大は継続
新たな価値提案を生み出す起点に

守り

- 固定費抑制実施中
- 間接機能の再設計(継続)

(5) セキュリティ機器事業

➤ 住設機器部門

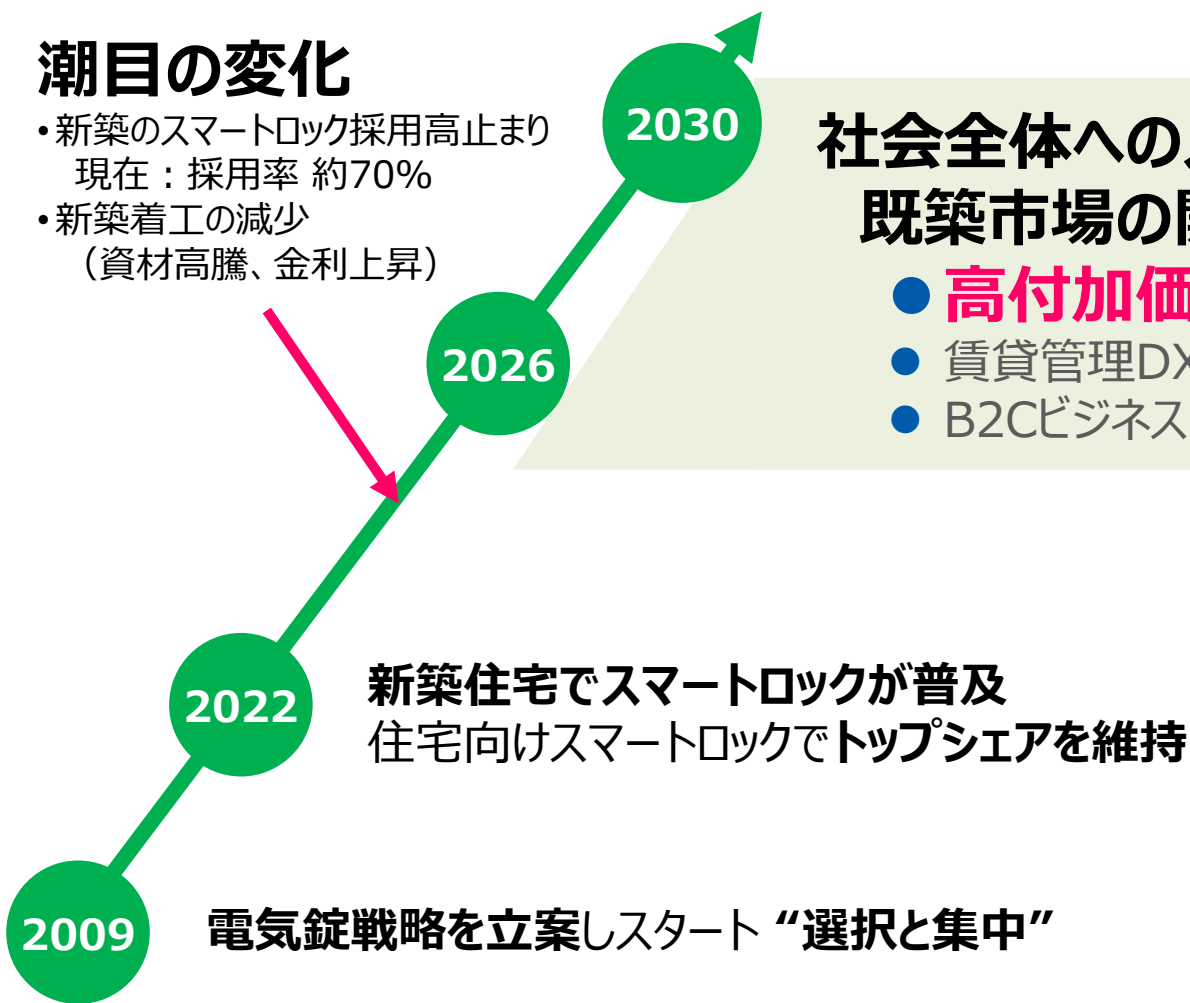
Smart Access Life を創造する
スマートロックを普及させ、快適な暮らしを社会に提供する

潮目の変化

- 新築のスマートロック採用高止まり
現在：採用率 約70%
- 新築着工の減少
(資材高騰、金利上昇)

社会全体へのスマートロック普及へ 既築市場の開拓

- **高付加価値商品の開発・販売**
- 賃貸管理DX化への貢献
- B2Cビジネス（チャンネル戦略の強化）

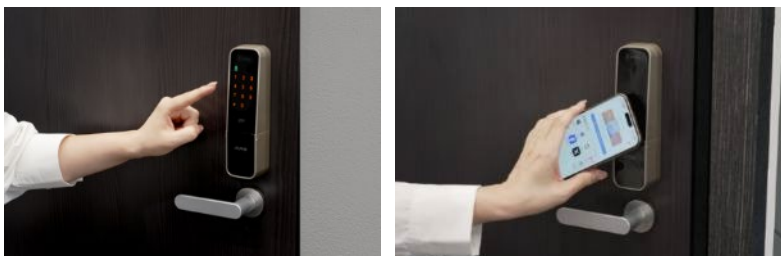


(5) セキュリティ機器事業

既築市場の開拓に向け、高付加価値商品を市場投入

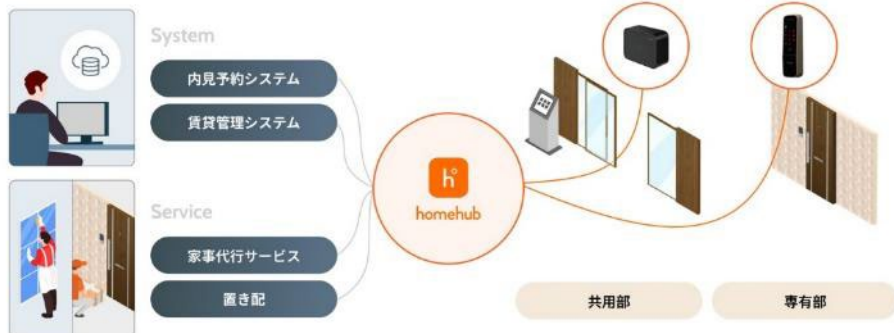
■ edロック Connect-BT 2026年6月発売開始

ビットキー連携で鍵管理をDX化
進化した取付性で、賃貸管理をもっとスマートに



連携システム・サービス

連携製品（例：スマートロック）



■ TENKEY READER PRO 2026年7月発売開始

ワンタイムで開く、対面いらずのスマート内見
集合住宅の鍵管理をまるごとDX化



TENKEY READER PRO

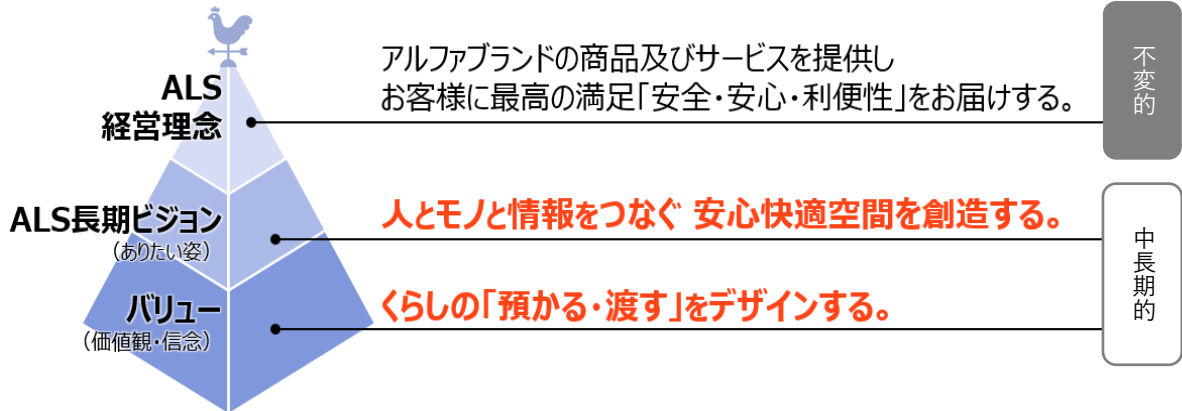
オートロック解錠から住戸玄関解錠までの流れ

<p>1 TENKEY READER PROに入居用OTPを入力</p>	<p>2 オートロックの自動ドアが解錠</p>	<p>3 共用廊下を通り住戸玄関へ</p>	<p>4 edロックPLUS-OTPIに入居用OTPを入力</p>
<p>①集合玄関機に取付したTENKEY READER PROに入居用OTPを入力します。認証するとオートロックが解錠されます。</p>	<p>②自動ドアが解錠され、建物内に入室できます。</p>	<p>③共用廊下を進み住戸玄関まで移動します。</p>	<p>④住戸玄関edロックPLUS-OTPIに入居用OTPを入力します。認証すると解錠され、入室できます。</p>

➤ ロッカーシステム部門

人とモノと情報をつなぐ 安心快適空間を創造する。

■ 目指す姿



■ 基本戦略

物販増収
製品・サービスの**価値**で戦う
Value up

先行投資

成長事業拡大
新たな**価値**を創造
Innovation

コア事業 オペ拡大
保有ロケ+管理体制の**強み**
Scale up

成長事業の「開拓」
新たな成長フィールドの探索

事業の「拡大」
新たな収益基盤の形成

コア事業の「再生」
コロナ以前の業績に戻す

収益基盤の維持・強化
安定収益を新事業投資へつなげる

成長事業

顧客開拓で新事業の形成

ロッカー型自販機で食品ロス削減する活動
おいしいがもったいない。

食品ロス削減推進表彰消費者庁次長賞を受賞
 横浜市、東京都、京都府、福岡市など30箇所に設置



救出できた
 食品の総重量



食パン67万枚相当

コア事業

収益基盤の維持・強化

**(ターミナル)ロッカーを多機能
 仕様へ**

ロッカーの予約・場所検索ができるシステムと連携

ロッカー予約
 空きロッカー検索



2026年5月から
 東京駅をはじめJR東日本エリアに順次拡大中

アルファビジョン2030

2nd Stageの展望

重点テーマ

コーポレート

コーポレート機能・体制の再構築

真の経営企画機能構築

財務・資本政策
(キャピタルアロケーション)

組織・権限体制の再構築



自動車

地域・製品・事業
ポートフォリオ戦略の設計

中国・北米の
抜本的収益改善策検討



インドにおける
今後の方針検討



住設

集合住宅・既築市場での
優位ポジション獲得に
向けたアクション検討



住宅設備メーカーとの
協業



海外進出による
市場拡大

ロッカー

パートナー連携による
事業創出



リプレイス需要獲得と
高付加価値化



新市場創出による
成長ドメイン拡大



事業部連携で新規事業・製品を生み出す手法・仕組み検討



当資料には将来見通しが含まれております。将来見通しは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。この将来見通しは仮定または仮定に基づく根拠が含まれており、環境によっては想定された事実や根拠は実際の結果とは異なる場合があります。

また法令上、別途の定めがある場合を除き、当社はいかなる将来見通しも最新のものとする義務を負っておりません。

【本資料に関するお問い合わせ先】

株式会社アルファ
総合企画部企画法務課
TEL : 045-787-8401
URL : <https://www.kk-alpha.com/>